

京都駅出土の汽車土瓶

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



写真1 京都駅構内で見つかった汽車土瓶

はじめに 鉄道の旅にはさまざまな楽しみがあります。たとえば今は数少なくなりましたが、電車、気動車や力強い音と迫力ある煙を出す蒸気機関車が主要な駅に停車するたび、短い停車時間内に弁当、お茶、その他の飲み物、おやつを売りにやってくる立売りもひとつの楽しみです。それは旅の潤いであり、その地域の食文化を知る絶好の機会です。しかし今の列車を見ると、特急や新幹線は窓が開かなくなり、立売りの姿もほとんどなく、売り声も聞かれず、「人」の声の少ない、ただ「騒音」だけがこだまするようなホームになってしまいました。

汽車土瓶 1999年4月から5月にかけて、京都駅構内で下水道工事に立ち会って調査しました。その時石炭ガラの中から、多量の汽車土瓶と、その蓋や湯呑みが密集して出土しました(写真1)。汽車土瓶はお茶を入れる容器で、湯呑みとセットで販売されていました。

それらの土瓶の側面には、左向きに駅名や販売店の屋号と思われる手描きの文字が書かれ、駅名としては「大津」・「岡山」・「姫○」・「米○」・「○○べ」などがあり、屋号は「○筒屋」・「三好○」がありました。[米○]と「○筒屋」は同一個体に描かれ、また土瓶の胎土・釉薬から

みて「姫○・ひめぢ」と同じ土瓶に描かれたものと思われる「○筒屋」もあります。他に1点、型紙を使って描かれた「姫○」がありました。

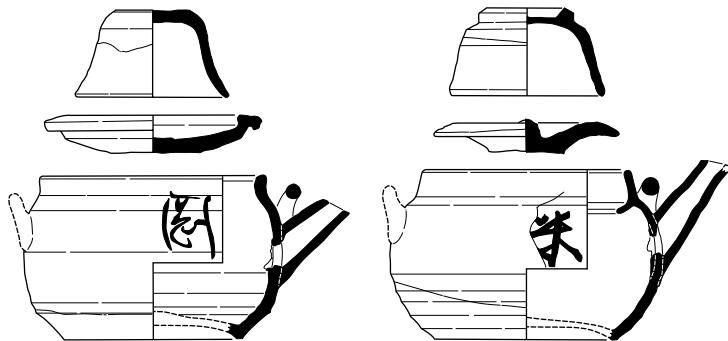
土瓶は、体部最大径が約10.5cm、高さは7～7.5cmで、約2合の容量があり、内面に鏝状にめぐる「キ」と呼ばれる落し蓋受けの有るものと無いものがあります。

蓋は「キ」有りだとセットになる底部の狭い落し蓋と、「キ」無しとセットになる底部の広いかぶせ蓋があります。落し蓋は直径7～7.5cm、かぶせ蓋は8～9cmです。

湯呑みは素焼きの物や、施釉されて高台が付くものと底部が糸切



大正2年の地図 濃色の鉄道が初代で淡色の鉄道が2代目となる（縮尺1：40,000）
『日本都市変遷地図集成』京都西南部より部分掲載一部改編 柏書房株式会社 1987年発行



汽車土瓶の実測図（縮尺1：3） 湯呑み・かぶせ蓋（左）・落し蓋（右）・土瓶

りで切り離されただけのものがあ
り、口径は約6cm、高さは3.5～4
cmにおさまります。胎土をみると
黄灰色、灰色と赤褐色の3種類に、
釉薬も黄褐色から灰色ないし白色
で、だいたい3種類に分かれます。

その他に、立会地点より北方の
1994年の調査で、山水風の絵が描
かれた益子焼の土瓶が出土しまし
た（写真2）。この土瓶は従来市販
されていたものが汽車土瓶に転用
されたとの指摘があり、駅名・屋
号が入るものより古いタイプと思
われます。これは「ゴミ」の廃棄
場所が徐々に南へ移っていった様
子を示唆しているかも知れません。

汽車土瓶は、この他にも東京の
汐留（新橋）、神戸などで出土し、

各地の駅名が書かれていたことか
ら全国の主要な駅で販売されてい
たと思われます。

京都駅の歴史 京都駅の歴史を
振り返ってみると、東海道線の関
連で明治10年に神戸から京都まで
鉄道が開通した際に初代京都駅が
建てられました。

その後、大正天皇の御大典に合
わせて京都駅の改築が計画され、2
代目は大正3年に初代の駅から南へ
約135m移して再建されました。

昭和25年の火災で2代目が焼失
した後の3代目と平成9年開業の
現在の4代目は、2代目と同じ地
点に建設されています。また、線
路の位置も2代目と現在のものは
ほとんど変わりがありません。



写真2 山水風の絵が描かれた土瓶

まとめ このことと今回の遺物
の出土地点を考えてみると、出土
地点は初代の駅からは南の構外、
2代目から4代目では構内にあた
ります。また出土したものは使い
捨てられたもの、つまり廃棄物で、
量的にも、到底駅前や路線区内に
投棄するようなものではなく、人
目につきにくい構外か路線区外の
空闲地に廃棄し、埋め立てられた
ものと思われます。

もしそうであれば、これらの遺
物は初代京都駅が建てられた以降
で2代目の前と限定された、明治
10年から大正3年の間に廃棄され
たと考えられます。また、伝え聞
くところによれば、お茶は明治22
年から静岡駅で販売されたそう
です。とすると、廃棄された時期は
明治22年以降大正3年以前と、も
うすこし限定されたものとなる可
能性があります。

今の鉄道はスピードに走り、列
車そのものが閉鎖的になっていま
すが、乗客とプラットホームの生
き生きとした情景を彷彿とさせる
これらの品々が語る言葉にも耳を
傾け、鉄道がゆとりのある「旅」
であった頃を振り返るよすがとし
たいものです。

（竜子 正彦）